資料３－４

JESCO 北海道事業所

環境安全に関するトピックス

1． 運転会社における小集団活動

運転会社（MEPS）では安全衛生活動の重点事項として、「安全小集団による職場環境改善活動の推進」を掲げており、19 年度は 13 のサークルで 14 件のテーマを実施･完結しており、活動状況を評価して社内表彰が行われている。活動実績の資料を添付する。

2． 安全衛生パトロールの実施状況

MEPS との安全衛生協議会（原則毎月第４金曜日開催）の終了後に、JESCO･MEPS 合同で安全衛生パトロールを実施している。また、MEPS 単独でも MEPS 安全衛生委員会の終了後に産業医とともにパトロールを実施している。

パトロールにおいて指摘された事項は、写真とともにまとめられ、安全衛生協議会で対応状況が報告されている。今年度の安全衛生協議会で報告された資料を添付する。

3． 安全啓発活動

(1) 春の交通安全週間の取り組みとして、4 月 7 日から 11 日までの毎日、JESCO 職員 4 名＋MEPS 職員 4 名で PCB 処理情報センター入口門と事業所正門で朝の門立ちを実施し、JESCO、MEPS 及び JV の職員に対して交通安全を喚起した。

(2) 7 月 1 日から 7 日までの全国安全週間の取り組みとして、1 日の始業時間前に JESCO29 名と MEPS80 名が参加し、北海道 PCB 廃棄物処理施設の安全大会を実施した。実施状況の資料を添付する。

(3) 厚生労働省が公募（5 月末締切）した全国労働衛生週間のスローガンに対し、JESCO から 4 件、MEPS から 1 9 件応募し、労働衛生意識の高揚を図った。

4． 産業医との委託契約

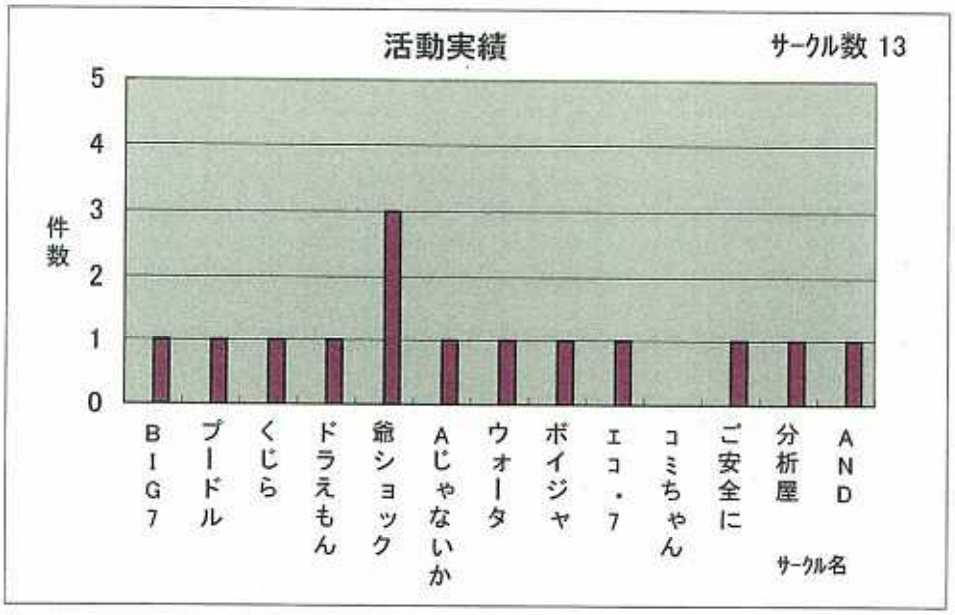
8 月 1 日付けで MEPS の産業医である新日鉄室蘭総合病院の菊入剛先生と契約した。北海道事業所の産業医として原則として毎月第 1 金曜日に来所いただき、安全衛生委員会への出席と現場パトロールを実施していただくことになった。

以 上

平成19年度　安全小集団活動総括

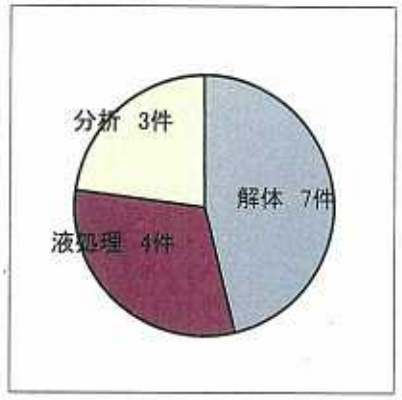
平成20年4月11日
安全衛生事務局

1. 活動実績



職場単位完結状況

完結件数　14件



2. 活動評価結果

所　続	サークル名	テーマ名	分　類	審査結果
解体Gr	ﾌﾟｰﾄﾞﾙ	手洗いの励行	衛　生	優良賞
	くじら	防護類の装着を徹底	安　全	優秀賞
	爺ショック	ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ作業の安全確保	安　全	優秀賞
		検査昇降台への漏れ防止型金属容器の搬入方法の改善	作　業	優秀賞
		二次廃棄物の投入方法の統一	作　業	優秀賞
	BIG7	保護具の完全装着定着化	安　全	優秀賞
	ﾄﾞﾗえもん	指差呼称の励行	安　全	優良賞
液処理Gr	Aじゃないか	指差呼称の定着化	安　全	優良賞
	ｳｫｰﾀｰﾎﾞｰｲ	作業現場における保護具着用の明確化	安　全	優良賞
	ボイジャー	ﾊﾟｿｺﾝ使用操作方法のレベルアップ	業　務	優良賞
	エコ・セブン	プラント見学研修報告書作成	業　務	優良賞
分析Gr	ﾁｰﾑご安全に	通勤途上で交通事故を起こさないようにする	交　通	努力賞
	分析屋さん	サンプリング時の安全確保	安　全	優良賞
	ﾁｰﾑｺﾐちゃん			
	AND	抽出作業時の内容液の噴出に注意して作業する	安　全	優良賞

3. 活動総括

1) 安全小集団活動導入開始年としては、各サークルとも目標件数に沿った活動が展開され一定の評価ができる。但し職場単位では目標未完結のサークルもあり、次年度の活発な活動を期待したい。

2) 今年度の活動の取り組みは、年度末の駆け込み型が多く計画的な活動が必要である。又、サークル間に活動のバラツキが見られるのも特徴である。

目　的　社安全衛生活動の重点実施事項に掲げている、「安全小集団による職場環境改善活動の推進」にもとづき安全小集団活動の活性化を図り、安全で快適な職場づくりを目指すものである。

安全小集団活動　評価要領(案)

平成20年2月21日
MEPS　安全衛生事務局

1. 評価基準項目

	評価基準項目
1	問題点の抽出及び改善対策が優れている
2	具体的な効果・成果が現れている
3	手順書・職場ルール作りに反映されている
4	問題解決に向け努力がみられる

2. 評価方法

各基準項目に対して以下の評価点を与え
その合計点の審査員平均値をもって評価を行う。

評価項目	評価点
非常に優れている	5
成果がある	4
改善がみられる	3
工夫が必要	2
努力が必要	1

3. 審査方法

審査は原則として年度末に実施し、発表大会を開催又は書類審査により行う。

審査委員は次の6名とする

審査委員長　社長　・　審査委員　業務部長、運転部長、操業技術部長
設備管理部長、安全衛生部長

4. 表彰

右記の区分により表彰を行うとともに報奨金を受与する。

なお、貢献賞は受賞テーマが優れているものを選考する。

賞区分	評価点数	報奨金(円)
最優秀賞	120～100	30,000
優秀賞	99 ～80	20,000
優良賞	79 ～60	10,000
努力賞	59以下	5,000
貢献賞	社外大会出場等	20,000

5. 安全小集団事務局設置

MEPS安全衛生事務局にて実施

☆活動手当に関しては別途検討のうえ提議

6. 本審査基準の適用

平成20年3月1日より

対応状況を青文字で示す。

平成２０年４月７日　安全パトロール

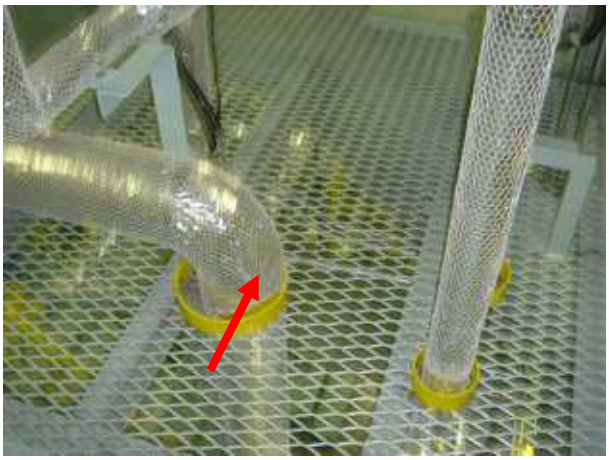
安全衛生事務局

蒸留ｴﾘｱ１階：第１、第２再生溶剤槽前のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽのﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝの形が違っている。
→PCB 含有によって区別とのこと
（PCB 含有→エア駆動バルブ使用）

同左
JV から基本の考え方と注意点を聴き取る。
→同左

真空加熱ｴﾘｱの階段：　ﾄﾗﾃｰﾌﾟを付けているがｸｯｼｮﾝ材に変更必要、足元に頭上注意が必要
→ｸｯｼｮﾝ材に変更し、頭上注意を掲示済み

真空加熱ｴﾘｱ１階のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽ傍のｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ部にぶつかる可能性あり、ｸｯｼｮﾝとﾄﾗﾃｰﾌﾟ必要
→ｸｯｼｮﾝ及びﾄﾗﾃｰﾌﾟで対応済み



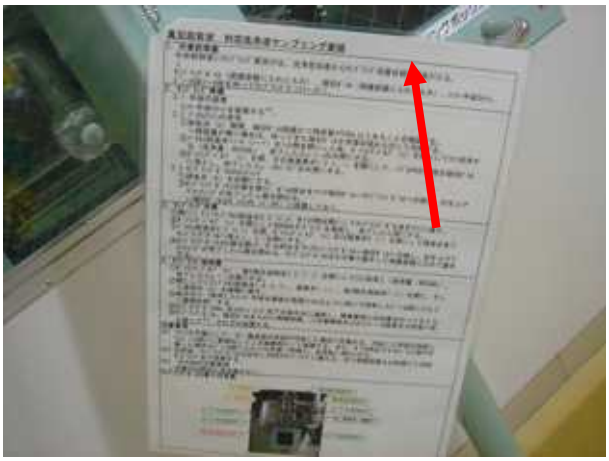
真空加熱ｴﾘｱ２階の道線？　配管間が狭いので注意ﾄﾗﾃｰﾌﾟなどが必要→ﾄﾗﾃｰﾌﾟで対応済み

真空加熱ｴﾘｱ３階の道線でﾊﾞﾙﾌﾞｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙにぶつかる可能性あり、ｸｯｼｮﾝとﾄﾗﾃｰﾌﾟ必要
→ｸｯｼｮﾝ及びﾄﾗﾃｰﾌﾟで対応済み

平成２０年４月７日　安全パトロール

安全衛生事務局

<table>
<tr>
<td>

真空超音波の洗浄液ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽでﾊﾞﾙﾌﾞの調整済みの札が付けられていない。
→調整済みの札を取付済み</td>
<td>同左
統一されていない
→同左</td>
</tr>
<tr>
<td> 

上記のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽに手順が掛けられているが日付け、発行者など記入されていなく最新版か不明。
→最新手順書に掛示変更し対応済み</td>
<td>

各ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽ共通
ﾊﾞﾙﾌﾞﾊﾝﾄﾞﾙ位置が完全に閉止状態になっているか確認が出来ない（別ﾀｲﾌﾟのﾊﾞﾙﾌﾞに変更する必要有）→恒久対策を検討中</td>
</tr>
</table>

MEPS　安全衛生パトロール指摘事項(5月分)

1．パトロール実施日時：平成20年5月16日　14時45分～15時45分
2．パトロール実施者　：菊入産業医、池田総括安全管理者、永井業務部長、川井操業管理部長
　　山中設備管理部長、小塚液処理班長、西崎安全管理者、工藤衛生管理者
3．パトロールの視点　：ヒヤリハット発生箇所の現場確認と対策状況のチェツク
　　類似作業箇所の確認
4．パトロールコース　：処理棟2階排気エリア･4階オンラインモニター室

	場所（階･エリア）	指摘事項及び感想	指摘事項に対するフォロー
1	オンラインモニタ	エアコンﾄﾞﾚﾝ水が変色している原因は何故か。またドレン水保管場所の表示をしてください。	エアコン配管内の錆びが原因表示札を取付済み(5/20)
2	オンラインモニタ	空調排水溝にドレン排水表示がない。	表示札取付済み(5/20)
3	排気エリア	流量計のタグ NOの表示だけでなく、柱等に表示が必要。及び計器本体には計器名を表示した方が良い。	表示札取付済み(5/22)
4	排気エリア	上記と同じ　(ﾋｭｰﾏﾝｴﾗｰ防止のため)	上記と同じ
5			
6			
7			

6月度安全衛生協議会パトロール指摘事項

（青記部：対応内容）

受入室 搬入運搬車の車輪止め未設置 →受払班から運送業者に随時申入実施 	払出室 搬入運搬車の車輪止め未設置（シャッターまでの距離が短く危険） →受払班から運送業者に随時申入実施 	北側屋外非発室横 屋外保管物の養生及び保管責任者名、保管品目表示方 →不要ワイヤであるため、払出時に払出（8/22 完了）
払出室エリア ポリﾀﾝｸ内の内容物分析後廃棄物処理方法検討方 ４Ｓ不良及び保管方法検討 →格納場所を決めて順次対応（収納用ロッカーを手配中） 	払出室エリア 保管責任者及び保管品目表示、保管場所の検討方 →格納場所を決めて順次対応（収納用ロッカーを手配中） 	払出室エリア 保温材仮置き場表示撤去方 →撤去完了
廃アルカリ緊急シャワー 使用方法を明示すること →ラミネートしたシートで表示 	ＳＤ室エリア ＳＤ室内の堆積粉塵、清掃要 →清掃実施済 	ＳＤ室エリア 搬送パレットの立掛け危険 →下置きに実施済

ＳＤ室エリア ポリﾀﾝｸの内容物分析後廃棄物処理方法検討方 →分析方法を検討中。 	ポンプ室エリア 工水ポンプﾕﾆｯﾄ近傍の堆積粉塵清掃要 →堆積粉塵の清掃を実施済 	払出室 コンテナの汚れがあるため洗浄等対応要 →汚れがある際には洗浄を実施

・ 受入室の緊急シャワーで使用する水の交換が出来ない。シャワー水の衛生管理に問題がある。

→PCB による汚染が無いことを確認した上で廃棄することとなるが、未使用水の排水方法について検討中。

別紙３

平成 20 年 6 月 26 日
北海道 PCB 廃棄物処理施設
安全衛生協議会事務局

北海道ＰＣＢ廃棄物処理施設　平成 20 年度安全大会の開催について

今年も７月１日から７日まで、**「トップが率先　みんなが実行　つみ取ろう職場の危険」**をスローガンとして、全国安全週間の本週間が展開されます。

北海道 PCB 廃棄物処理施設は、５月２１日の本格操業開始以降、安全第一に業務を進めてきたところですが、労働災害防止活動の一環としてより一層安全意識の高揚を図るため、JESCO と MEPS が一体となって安全大会を開催し、操業中の安全活動を定着させたいと思います。

つきましては、下記の要領にて安全大会を開催したいと思いますので、JESCO 北海道事業所員及び MEPS 社員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

記

１．日　時：2008 年 7 月 1 日(火)　7 時 50 分～8 時 00 分頃
２．場　所：北海道 PCB 廃棄物処理施設　管理棟２階　見学者ホール
３．参加者：JESCO 北海道事業所員、MEPS 社員
　（真空加熱分離エリア１の見学窓に向かって、左 JESCO、右 MEPS で整列する。）
４．次　第（進行役：JESCO 安全対策室長）
　(1)　開会
　(2)　挨拶（JESCO 油井所長。JESCO 社長安全メッセージの周知を含む）
　(3)　訓示（MEPS 池田社長）
　(4)　安全決意表明（MEPS 運転部門代表者）
　(5)　安全唱和（全員。先導：JESCO 代表者）
　(6)　閉会
５．その他
　(1)　準備品：マイクスタンド＋スピーカー、カメラ、ビデオ
　(2)　掲示物：国旗、安全旗、式次第、安全週間ポスター

以上

主　催：北海道 PCB 廃棄物処理施設　安全衛生協議会
事務局：JESCO　中尾安全対策室長、MEPS　西崎安全品質環境担当部長